

# きたかみ 市議会だより

第111号

平成30年10月26日



## 《主な内容》

9月通常会議 (平成29年度決算 4～7)	2～7
一般質問	8～12
市民と議会をつなぐ会 開催報告	14～15
議会フォーラム開催のお知らせ	16

## 今号の表紙写真

撮影場所 秋の詩歌文学館の庭  
撮影者 北上市大通り きた 木田 まさる 勝 さん

### 【木田さんのコメント】

良く整備されている詩歌の森公園は私の好きな癒しの場所となっております。四季折々の光景を見るのが楽しみの一つです。

## 表紙を飾る写真を大募集!!

北上市の風景、四季折々の行事などの写真をお待ちしています。現在は、「冬」がテーマの写真を募集中です！募集要項と応募用紙は、ホームページからダウンロードできます。

9月  
通常会議

会議期間

9月6日  
～10月1日

審査案件

条例	3件
決算	11件
補正予算	8件
人事	1件
発議案	2件
その他	6件
計	31件



Pick up 1

平成30年度北上市一般会計補正予算(第3号)

注目事業の進め方に質疑多数

FM電波調査・笠松小の移転・健康管理センター等の整備

難聴地域が生じているコミュニティFMの電波調査費などを盛り込んだ一般会計補正予算を、賛成多数で可決しました。注目の事業にかかるとの質疑は次のとおりです。

コミュニティFM

コミュニティFM放送の電波受信状況が不良な地域が生じていることへの対策として、中継局増設に向けた電波調査を行う費用を計上。

電波調査と設計、工事に11ヶ月かかる。1年近くも難聴エリアが解消できなければ、聴く人がいなくなってしまうのでは。

早期の難聴エリア解消に向け、来年度3月の補正予算で工事費を措置したい。

※関連6ページ



▲いいあんべFMのロゴ  
周波数は88.8

笠松小学校の移転



▲笠松小学校の校舎

笠松小学校校舎の耐震性不足の対応として、子どもの安全を確保するため、来年度4月から和賀西小学校内に笠松小を移転する費用を計上。

笠松小と和賀西小の統合、新校舎建設について、どのような見通しか。

今回の移転は緊急避難的なもので、来年度は一つの校舎に二つの学校が併存するかたちになる。

1年後どうなるか、明確にしたいうえで進めるのが市の責任ではないか。

素案は、和賀西小の校舎を使って平成32年4月に統合、34年に新校舎移転としている。今年度中の結論を目指し保護者、地域と協議する。

健康管理センター等の整備

老朽化した健康管理センター等を移転整備するため、基本設計業務委託料等を計上。

整備予定地は、ツインモールプラザありきか。使用年数やフロアの権利関係など、慎重に検討すべきでは。

有識者や子育て世代の市民で構成する「デザイン会議」の結論を反映しツインモールで進める。移転交渉やフロア取得手続は今後慎重に進める。

新しい健康管理センターは…

市民の健康づくりと

子育て支援の拠点となる施設

健康管理センターに、母子保健サービスと子育て支援サービスを一体的に提供する子育て世代包括支援センターと子どもの室内遊び場を併設。平成32年度中のオープンを目指す。

議案第40号 (仮称) 北上市新中央学校給食センター整備等事業の事業契約の締結について

### 新中央学校給食センター 運営事業者と契約締結

新中央学校給食センターについて、株式会社北上さくらスクールランチと事業契約を締結します。契約金額は15年間で約52億円。事業者が施設を設計・建設し、施設の所有権を市に移転した後、施設の維持管理と運営を行うもので、平成32年4月より運用を開始します。提供食数は、1日あたり最大4000食。米飯については、北部学校給食センター管轄分にも対応し、最大6600食を提供します。



議案第43号 人権擁護委員の候補者の推薦について

### 人権擁護委員

人権擁護委員の候補者として、次の方を法務大臣に推薦することを決定しました。

- 高橋 成人氏 (再)
- 松本 美由紀氏 (再)
- 高橋 久美子氏 (新)
- 平野 昌幸氏 (新)

発議案第5号 日本政府が「核兵器禁止条約」に署名・批准することを求める意見書

### 核兵器禁止条約に関する 意見書を賛成多数で可決



この意見書は、日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名・批准することを求めるもので、賛成18・反対7の賛成多数で可決されました。審議では、核廃絶を実現するための方法と、安全保障上の問題をどう考えるのかに議論が集中しました。

#### 反対討論

小原 享子 議員

この条約は、核兵器保有国の意向や、核保有国に安全保障を依存する国の状況を無視するもの。このような方法では、核廃絶に向けた規範の醸成や共有は困難で、核保有国と非核保有国の歩み寄りが困難になる。

#### 賛成討論

三宅 靖 議員

唯一の被爆国である日本の動向は、国際社会から注目されている。核廃絶に向けた国際世論を動かすためにも、日本はこの条約に参加すべき。そのうえで、様々な安全保障上の課題に取り組んでいくべきと考える。

第236回9月通常会議 議決結果	賛否		新清会				北政会				北新ネット			北上まほろばクラブ			無党派												
	賛成	反対	菊池 勝	昆野 将之	齊藤 律雄	藤本 金樹	高橋 光博	高橋 初男	高橋 晃大	佐藤 恵子	及川 誠	八重樫七郎	佐藤 重雄	高橋 孝二	小田島徳幸	阿部眞希男	武田 勝	小原 敏道	平野 明紀	三宅 靖	梅木 忍	熊谷 浩紀	小原 享子	安徳壽美子	星 敦子	八重樫善勝	鈴木健二郎		
議案第29号 平成30年度北上市一般会計歳入歳出決算の認定について	23	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	
議案第29号 平成30年度北上市一般会計補正予算(第3号)	21	4	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第40号 (仮称) 北上新中央学校給食センター整備等事業の事業契約の締結について	17	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案第5号 日本政府が「核兵器禁止条約」に署名・批准することを求める意見書について	18	7	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 一般会計

歳入総額  
**380億7,751万円**

歳出総額  
**376億2,282万円**

地方交付税は  
前年度より  
約**4.3億円の減**

地方交付税とは、市町村の財政力に応じて国が市町村に交付するお金です。市税の収入が増えた影響で、減額となりました。

国庫支出金は  
前年度より  
約**6.6億円の増**

農畜産業を強化するため、施設整備などに対する国からの補助金が増えました。

市民の皆さんや  
市内の事業所が  
納めた税金  
【市税】135億5,555万円

国から  
配分されたお金  
【譲与税・交付金】84億1,332万円

国や県が必要だと認めた  
事業に配分されたお金  
【国・県支出金】81億9,110万円

借金 【市債】30億4,890万円

その他  
48億6,862万円

保育園の運営  
生活保護、高齢者や  
障がい者の支援  
【民生費】121億6,834万円

借金の返済  
【公債費】43億7,200万円

学校の整備、運営  
【教育費】43億5,217万円

庁舎管理、行政運営  
【総務費】42億4,718万円

農林業の振興  
【農林水産業費】30億9,173万円

道路や公園の整備  
【土木費】38億5,895万円

その他  
55億3,242万円

残したお金  
約**4.5億円**  
平成30年度に繰り越した事業を行うためのお金、約6千万円が含まれています。

教育費は  
前年度より  
約**2.4億円の減**  
国体関連業務が終了したことが主な要因です。

農林水産業費は  
前年度より  
約**6.7億円の増**  
農業用水を安定して供給するため、国営の湯田ダムの改修等が行われ、その費用の一部として約6億円を負担しました。

## 特別会計

前年度より  
歳出は約**2.5億円の減**  
被保険者数の減少と給付件数の減少によって、保険給付費が伸びなかったことが主な要因です。

平成29年度の立地企業は  
5社でした。

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険	88億6,400万円	87億7,143万円	9,256万円
後期高齢者医療	15億4,393万円	15億4,292万円	101万円
介護保険	74億8,546万円	74億8,144万円	402万円
工業団地事業	3億5,449万円	3億4,914万円	535万円
農業集落排水事業	8億 335万円	8億 329万円	6万円
駐車場事業	3億3,270万円	3億3,270万円	0.2万円
宅地造成事業	4,483万円	1,703万円	2,780万円
電気事業	1億7,514万円	1億5,243万円	2,270万円
土地取得	1,004万円	1,004万円	—
合計	196億1,398万円	194億6,045万円	1億5,353万円

## 下水道事業会計

項目	歳入	歳出	差引
収益的収支	22億 673万円	22億4,024万円	△3,350万円
資本的収支	11億2,087万円	19億2,342万円	△8億 254万円

※表中の金額は1万円未満を切り捨てていますので、合計が一致しない場合があります

# 平成29年度決算を認定

議長を除く25名の議員で決算特別委員会を設置し、9月13日、14日、18日、19日、25日の5日間にわたり平成29年度一般会計及び各特別会計、企業会計決算の審査を行いました。

審査の結果、一般会計を賛成多数で、その他を全会一致で認定しました。決算審査の主な内容は、次ページをご覧ください。  
(討論→P 7、採決表→P 3)

## 財政状況は？

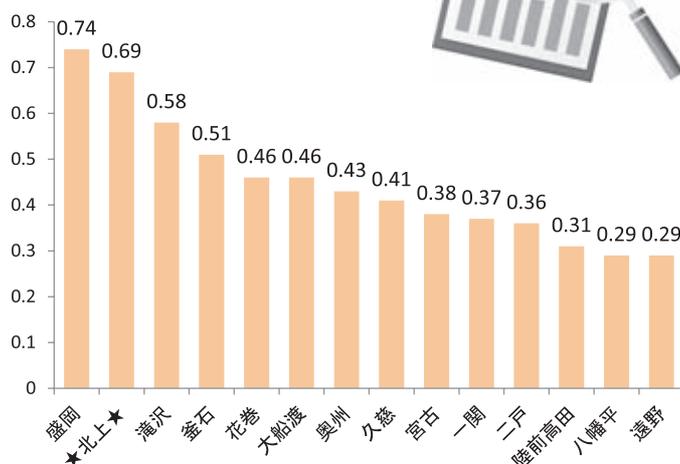
### 財政力指数は県内14市中、2位

財政力指数とは、市町村の財政力を示す数値で、1.0に近づくほど財政的な体力があるとされています。北上市の平成29年度の財政力指数は0.69で、前年度を0.02ポイント上回りました。県内14市の中では、盛岡市に次いで2番目に高くなっています。

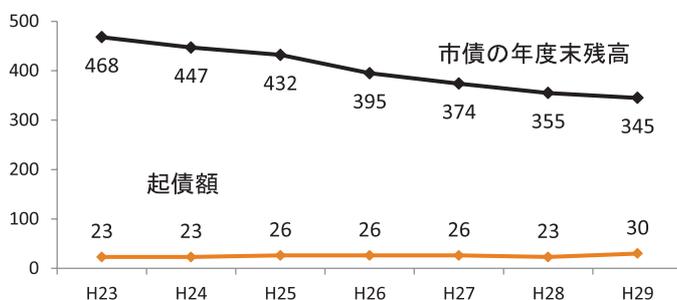
また、平成29年度末の市債残高(借金残高)は約345億円で、前年度と比較すると約10億円減少しました。新たな起債を抑制してきたことと、償還(借金の返済)が進んだことによるものです。平成29年度末の市債残高を市民1人当たりへ換算すると約37万円で、県内14市中2番目に低くなっています。



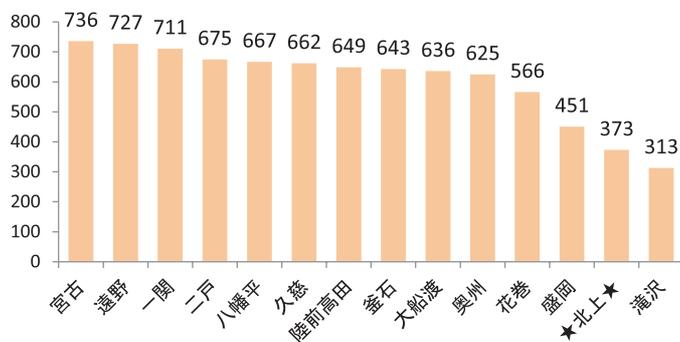
■財政力指数



■市債の年度別推移(億円)



■市民1人当たり市債残高(千円)



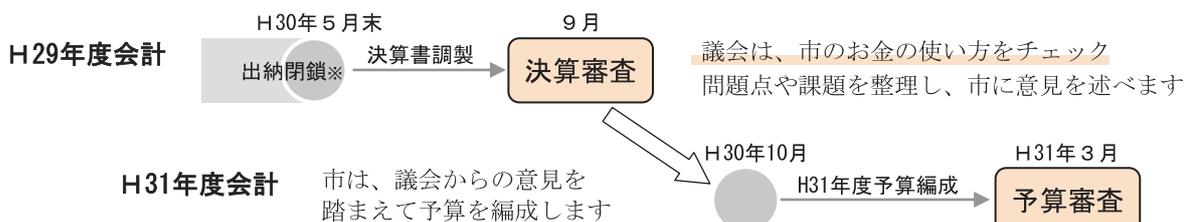
## 決算審査は何のために行うの？



**市のお金の使い方を検証・評価し、今後の予算編成にいかすためです。**

不適切なものや非効率なものがあれば、質疑を通じて明らかにすることができます。

決算審査は、予算の使い方をより一層適切で効率的なものにするために重要な役割をもっています。



※1つの会計年度のお金の出入りは、4月1日からはじまり翌年5月31日で完結します。

決算第1分科会

(総務常任委員会)

市税(歳入)

市税の収納率は、95・8%で前年度を0・4ポイント上回り、7年連続の向上となった。

分科会での意見

市税の滞納繰越分の徴収に  
なお一層努めてほしい。

コミュニティFM

基地局、中継局、放送スタジオを整備した。

Q

放送を聴取できない地域が生じているが、電波調査が不十分だったのでは。

A

平成28年度に行ったシミュレーション調査以外には方法がなく、調査が不十分だったとは考えていない。聴こえにくい場所があるかどうかは、実際に電波を出してみないとわからないところがあった。花巻市などでも、開局後の状況を見て、中継局を増設している。

消防団応援の店

消防団員やその家族等にサービスを提供する「消防団応援の店」として、107事業所を認定した。



▲応援の店の表示証  
消防団応援の店には  
入り口付近に約10cm四方  
の表示証が表示される。

チャレンジデー

ニュージーランドのマタマタ市を訪問し、チャレンジデーをきっかけとしたスポーツ交流、文化交流について協議を行った。

Q

マタマタ市を訪問した意義をどのように捉えているか。

A

マタマタ市との交流がきっかけで、クライストチャーチ市の高校ラグビーチームが当市に滞在し、地元高校生と交流する予定。そのような交流の広がりから意義があったと考える。



決算第2分科会

(教育民生常任委員会)

民生委員

北上市民生児童委員協議会運営費補助金について

Q

委員1人当たりの担当世帯数に差がある。地区の委員定数を増やす考えは。

A

委員定数は3年に一度見直され、平成30年度がその年となる。状況に応じた委員定数の変更について県に要望を予定している。

敬老会

敬老会主催団体交付金として、市は北上市社会福祉協議会に対し前年度の敬老会出席者1人当たり1080円を交付。社会福祉協議会は、市からの交付金に助成金等を加算したうえで各支部に配分し、敬老会事業の充実を図った。



病後児保育

平成29年度の総利用者数は、北上市病後児保育室が前年度より69人多い189人、いいとよ保育園病後児保育室(平成29年度開設)が53人だった。定員は、二つの施設を合わせて7名。

Q

定員に達したために利用希望者を受け入れられないことはあったか。

A

定員を上回る希望者はなく、利用を断ることはなかった。



▲平成29年度に病後児保育室を開設したいいとよ保育園

分科会での意見

住民情報誤開示に係る損害賠償事務について、適正な事務が行われるよう対策を徹底してほしい。

# 平成29年度決算 審査の主な内容

## 決算第3分科会

(産業建設常任委員会)

### 女性UIターン定住促進

県外在住の女性を対象に、北上市の暮らしや仕事、文化を紹介するツアーを実施した。また、市内企業の採用試験を受験するための交通費や、採用後の引っ越し費用を助成した。

**Q** ツアー参加者の感想は。

**A** 「降雪の状況がわかり、住んだ時のイメージができた」「病院や商業施設など生活に関わる情報を知ることができてよかった」等の感想をいただいている。



### 分科会での意見

各種会議の開催が当初の計画より少なかったものがあるため、年間計画に沿った開催と運営に努めるべき。

### チャレンジショップ

若者と女性の創業の機会や経営者同士の交流の場を提供することを目指し、民間事業者が運営するチャレンジショップの施設改修等の経費を補助した。



▲諏訪町にあるチャレンジショップ「Cokkara (コッカラ) やっべし」

### 空き家対策

空き家所有者が、改修、解体費用を金融機関からの借入金で賄う場合に、その利息の一部を補助。補助件数は、当初見込んだ20件を下回り、3件に留まった。

**Q** 利子分に加え、工事費用への助成が必要ではないか。

**A** 現在行っているローン利子補給の成果を踏まえたうえで、今後のあり方を研究する。

### 反対討論

安徳 壽美子 議員

#### 一般会計決算の認定に反対

市民のいのちと暮らしを守り、支える施策が実現されたのが問われるなか、住民情報を誤って開示する事故が発生し、損害賠償を支払った。さらに年度末の2月には、子どもの虐待の報告を受けながら対応を遅らせ、幼児の死を招くという誠に残念な事件を生んだ。これら重大事件は、適切に対応していれば避けられたものだった。市民

の暮らし、そしていのちを守るという一番大事な地方自治の役割を果たすべきだった。人件費が減少したが、正規職員は条例定数より33人少ない632人。正規職員を減らし、非常勤職員や臨時職員で補うことが続いている。正規職員を適正に配置し、職員の健康を守り、職場環境を向上させ、災害対応や市民の要望に応えることが重要であり、改善すべきである。

### 賛成討論

熊谷 浩紀 議員

#### 全ての決算の認定に賛成

歳出では人件費と公債費が減少し、投資的経費に振り向ける財源が大幅に増加した。健全化判断比率等の改善から、持続可能な行政経営に鋭意努力したことが明白。これにより、北上市版総合戦略を本格的に推進することを目指す各般の施策が展開され、市民福祉の向上に大きく寄与した。社会情勢や行財政状

況は刻々と変化し、新たに取り組まなければならない緊急の施策や未解決の重要課題、長年の懸案事項など、市を取り巻く状況は一層厳しいものとなる。限られた経営資源を効果的・効率的に活用するためには「選択と集中」を徹底しなければならぬ。各決算の審査を通じ、施策ごとの課題を明確にしながら総合計画後期計画の総仕上げに向けて着実に足取りを進めていることが見て取ることができた。

検討も重要だが結果を公表し確実に実行することを期待



たかはし はつお 高橋 初男 議員

次期市長選への意欲は

Q 2期8年の公約達成度の評価と次期市長選への意欲は。

A 課せられた使命に全力で取り組み、一定の手ごたえを感じている。今は平成30年度の施策が佳境を迎え、それに全力で取り組んでいる。年度後半に向けてこれまでの成果や課題を分析し、今後の対応を明らかにしたい。

北上平和記念展示館の整備を図っていくべき

Q 遺品資料の保存と今後の方法は。

A 市としてはできる限りの支援は行うが、地域資源である展示

旧和賀小学校跡地の利用計画は

品の管理運営は、これまでどおり地域が主体となり、まち育ての手段として検討することが望ましい。

旧和賀小学校跡地の利用計画は

Q 旧和賀小学校跡地は幼稚園統合予定地などとして整備方針が示されているが、進捗は。

A 幼稚園のあり方も含めて仕切り直しが必要。改めて地域との協議の場を設けて検討したい。

藤根幼稚園の今後の方針は。

A 他の幼稚園と統合はないが、園児数が減少しており認定こども園化の検討も必要。

進め方に疑問を感じる！



おばら としみち 小原 敏道 議員

地域住民の合意形成が図られる

統合校になることを期待

Q 小中学校適正配置等基本計画(案)の進捗状況と課題は。

A 現在は、基本計画(案)とは別に、耐震不足の校舎となつていく笠松小と照岡小の安全対策を優先している。笠松小と和賀西小の統合は、耐震診断の結果と基本計画(案)に係る協議を踏まえ、新たな場所に統合の新設校を整備する案を地域に提案し、地域と協議を進めている。

和賀西中と和賀東中の統合は。

A 和賀西中と和賀東中の統合は、生徒数が減少してお

り、将来取り組む必要がある。

Q 笠松小と和賀西小の「統合を考える会」の話し合いはどうか。

A 「和賀地区で小学校を存続し、新しい環境で学ばせたいので案のとおり進めてほしい。」との意見がある一方、「統合には賛成だが、まだ和賀西小学校を活用したほうがよい。」との意見が出ている。統合校の建設場所は、堅川目運動場を予定地とした。

統合校の通学方法は。

A スクールバスを確保するものとし、具体的な条件を精査し、保護者と協議していく。

約50億円の税金を使って建てたものを税金で買い取る？



たかはし こうじ 高橋 孝二 議員

異業種の入居は当初の目的外ではないか

再開発事業の目的

Q ①再開発事業の目的と異なる業態の入居について国・県及びビル管理会社と協議しているか。②当時の市長は、街の顔になるこの事業は百貨店でなければならぬ。駅前地区も江釣子地区もよくなる。と熱弁した。そう

なっているのか総括が必要である。①賃貸入居は問題ないが、買い取りは今後国と協議する。ビル管理会社とは協議していない。②10万人未満の地方都市の再開発事業の成功例として産業アドバイ

ザーからも高い評価を得ている。

健康管理センターは市役所北側駐車場が最も適している

Q 最適地である市役所北側の駐車場は5500㎡ある。市所有のJR北上駅西口駐車場は4865㎡ある。最初から外したのなぜか。

A 市役所北側の駐車場は現在、来庁者と公用車の駐車場として利用している。駅西口側の市有地は駅前広場、東西自由通路、商業施設とともに一体の駅前空間として供用・利用されていることから候補地の対象外とした。

一 般 質 問

健康管理センターの整備は  
利用者の利便性を第一に



ひらの あきのり  
**平野 明紀** 議員

**健康管理センター等  
整備予定地は**

**Q** ツインモールは予定地として最適か。

**A** 再開発事業の当初から都市機能として公共施設の入居を想定。採光の窓の設置や、こども用トイレなどの改修工事が必要。利用者の利便性は。

**Q** 駐車場は、新センター利用者で見込まれる100台程度は十分対応できる。高齢者や子ども連れの家族が使いやすい区画の設置や、滑り止め修繕など検討する。

**公契約条例の骨子  
見直しは**

**Q** 賃金条項、公契約審議会の設置は盛り込

まないのか。

**A** 賃金条項は、現時点で規定することは考えていない。審議会は、賃金条項を規定しない場合、必要性は低い。

**Q** 労働者が申し立てできる範囲は。

**A** 全ての公契約を対象とする方向で検討。

**会計年度任用職員  
制度導入の検討状況は**

**Q** 条例化の時期、職員団体や当事者との協議スケジュールは。

**A** 遅くとも来年9月には条例改正提案したい。正職員の配置を含め、適正配置に努める。

忘れる暇もなく  
災害が起きている  
備えは万全に



ふじもと きんじゅ  
**藤本 金樹** 議員

**北上工業団地内の  
道路交通の円滑化は**

**Q** 交通渋滞対策の進め方は。

**A** 北上工業団地東部道路、宿成田線道路拡幅、成田黒沢尻線の右折レーン整備事業などを計画し、来年度から測量設計業務を進める。工事の施工にあたっては、施工箇所及び時期を調整し、交通渋滞を回避したい。

**鳥獣被害対策の拡充は**

**Q** 侵入防止電気柵の補助の拡充は。

**A** 電気柵設置補助は、設置費の2分の1、上限4万5千円で補助している。今後の

**北上工業団地東部  
道路の拡充は**

**Q** 補助額拡充は、北上工業団地東部道路拡充の中で議論している。岩手県鳥獣被害防止総合支援事業でも別途補助がある。

**新教育長の教育方針は**

**Q** ①現在の教育方針、②18歳選挙の主権者教育についてどのような取り組みでいくのか。

**A** ①児童生徒の健全育成と学力向上を柱とし、着実に成果を上げており、さらに取り組みを充実する。②児童会・生徒会役員選挙の取り組みをとおし体験的に理解が図られ、模擬投票等で主権者教育の充実を図っている。

人生100年時代に向かって  
生涯現役社会を目指そう



たけだ まさる  
**武田 勝** 議員

**人生100年時代の  
人生設計は**

**Q** 人生80年時代は20歳前後まで学校で学び、60歳ぐらいまで働いて、その後20年は老後というのが当たり前の人生モデルだったが、人生100年時代はこの人生設計は崩れる。年金制度は40年もの長い老後を支えられないし、現役時代の蓄えだけで間に合わない。人生100年時代を見据えた高齢者雇用を促進する必要はあるが、当市の取り組みは。

**岩沢夏油トレイルコース  
入り口の改善を**

**Q** 岩沢夏油温泉線道路の一部崩れ、この路線を活用したトレイルコースの入口が鉄製ゲートで閉鎖されている。改善すべき。

**A** 車両は通行止めとしているが、コースを使ったトレッキングやトレイルランニングを楽しむにはゲート脇から出入りできる。戸惑うことなくコースに入れるよう看板を設置する。

(※)医療・介護の一体的なサービスを提供するため、北上市・花巻市・遠野市・西和賀町の医療・介護の情報連携を行うもの。



さとう けいこ 佐藤 恵子 議員

太陽光パネル設置への補助を継続、拡充を

Q おひさまパワー活用設備設置費補助金の申請者数と交付額は。

A 昨年4月の事業開始から今年8月末までの累計で、申請者は32人、交付額は320万円。

Q 災害等で損壊したパネルの感電等の危険性、市民への注意喚起を。

A 損壊パネルの危険性を注意喚起し、感電等の防止措置と適切な廃棄処分を行うよう周知する。

当市の防災対策は

Q 市内の土砂災害警戒区域等の危険箇所は。

A 土石流の警戒区域が44か所、急傾斜地崩落の警戒区域が121か所。

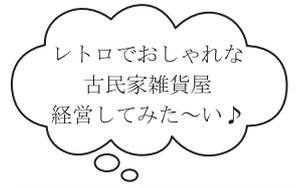
Q 豪雨の際の避難行動の周知は。

A 各種メール、ケーブルテレビ、市ホームページ、消防車両の広報、コミュニティFMで周知する。

医療と介護の連携体制の構築が急務

Q 岩手中部地域医療情報ネットワークシステム<sup>(※)</sup>の市民への周知は。

A 高齢化社会にあつては非常に有効なシステムであり、パンフレット配布などで市民への広報を強化し、加入を促進する。



うめき しのぶ 梅木 忍 議員

空き家の利活用促進を

Q 空き家バンク導入後の効果は。掲載件数を増やすべきでは。

A 空き家バンクは、不動産専門家等の協力を得ながら課題や条件等を整理し成約に結びついており、有効に機能している。主に一般に流通しにくい物件を相談受付のうえ掲載している。更に掲載件数を増やせるよう努める。

Q 移住・定住促進事業と連携し、空き家利活用の補助制度を創設してはどうか。

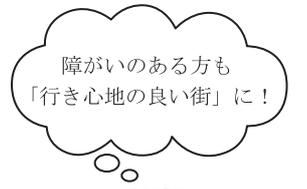
A これまでもUIターンフェア等で空き家バンクの情報を提供しているが、今後、

移住・定住促進事業との連携を一層強め、移住希望者に積極的に情報提供していく。

豊かな人間性を育む 道徳教育を

Q 道徳の教科化において、道徳教育の必要性や、新たな指導方法の検討が必要である。見解を伺う。

A 子ども達が自分を見つめ直し、物事を広い視野から多面的に考え、生き方について考えを深めるため、道徳教育の充実が重要。「考え、議論する道徳」に転換するため、新たな指導方法を徹底する。



おばら きょうこ 小原 享子 議員

医療的ケア児など障がい者への支援策は

Q 各種支援を調整する医療的ケア児コオーディネーターの養成は。

A 岩手県が平成31年度から養成事業を実施予定。相談支援事業所等に対し受講を要請し、平成32年度からの設置を働きかける。

Q 一時的に介護ができない場合に利用できない施設の増設は。

A 介護保険事業所で障がい者の短期入所を受け入れることができる「共生型サービス」を普及させる。

A 外出に活用できるよう市独自のトイレマップを作成する。

Q 多目的トイレに成人用シートを設置する考えはないか。

A 県内での設置場所や利用状況を分析し研究していく。

投票環境の改善策は

Q 共通投票所の設置は。

A 二重投票の防止のため、各投票所をオンラインでつなぐ必要があるなど、課題が多く、引き続き検討が必要である。

Q 知的障がいのある方への投票行動の支援策は。

A 対応マニュアルや支援カード作成など調査・研究する。

一 般 質 問

子育ての希望を  
かなえる環境づくりは  
当事者の目線に立って



あんとか す み こ  
安 徳 壽 美 子 議員

子育てしやすい  
環境づくりを

Q

北上市健康管理センター等の整備基本計画で、①江釣子保健センターの機能を廃止することについて住民への説明は。②保健師、助産師、社会福祉士等を確保し体制の強化が必要。③訪問型産後ケアの利用料は軽減を。

A

①結論はまだ出ていないが、廃止する場合は住民に説明する。②体制を十分確保していく。③利用者へのアンケート、他市の状況を確認し、負担のあり方を研究する。

Q

インフルエンザ予防接種の助成は、県内他市町村の実施状況に照らし、中学生までの全ての子どもを対象とし、助成額も拡充すべき。

A

当市では、福祉施策として所得の少ない世帯を対象に助成している。対象を拡大し、利用者負担額を減額するには、大幅増となる財源の確保が必要のため、今のところ拡大する予定はない。

Q

学校給食費を無料化する考えは。給食費を無料にするには毎年約4億円の財源が必要で、実施は難しい。

A

給食費を無料にするには毎年約4億円の財源が必要で、実施は難しい。

教育行政は  
「子どもで地域をつくる」  
視点で考えるべき



す ず き けんじろう  
鈴 木 健 二 郎 議員

学校の統廃合は  
地域の衰退を招くのでは

Q

和賀西小と笠松小、照岡、立花、黒岩各小学校の統廃合は地域の一層の衰退を招く。耐震性不足の学校は現在の場所に建て替え、人口を増やし、統廃合せずにすむ地域づくりをすべき。

A

地域の誇りを育てることができれば、人口減少のスピードを抑えられる。それが「あじさい都市」推進のための「まち育て」戦略である。

小学校の英語

教科化のねらいは

Q

英語教育は大切だが

Q

早ければよいというものではない。低学年では国語、算数などの基礎学力をしっかりと身に付けさせることが必要。3、4年生から導入する狙いと、教科の専任など指導体制、教員と子どもたちの負担増への対応は。

A

国際化の進展への対応や幅広い言語に関する能力を培うのが狙い。指導助手と英語専科の加配を2名増やす。外国語活動の専任化は学級担任以外の教員がいないと難しい。授業時間は週1時間増えるので、負担を考慮してカリキュラムを作成する。

男女共同参画は  
人権問題！  
「住みよいまち」から  
「生きやすいまち」へ



ほ し あつこ  
星 敦 子 議員

男女共同参画と  
多様性を認め合う条例  
制定の意義は

Q

突然の条例制定の経過と意義は。

A

男女共同参画サポーターや議会からも条例化への意見があった。少子高齢化や人口減少へ対応できる持続可能な社会を構築するため、男女共同参画社会の実現の必要性が一層高まっている。条例制定は市の強い意志表明であり、市が率先して取り組むことを宣言するもの。

Q

立場で参画できる地域社会である。ジェンダーとリプロダクティブ・ヘルス＆ライツ<sup>(\*)</sup>の視点、同性パートナーシップ制度導入、相談窓口体制の確立等を盛り込むべきでは。

A

先進事例を参考に検討していく。

Q

わずか半年で中身の条例にできるのか。

A

今後、地域づくり組織も含め、広く意見を聴取していく。担当部署を課、または係にすべきでは。女性センターなどを設置している他市の事例を参考にしながら、研究していく。

A

目指す社会像は。年齢・性別・国籍の違いや特性を認め合い、尊重し、対等な

(\*) 「性と生殖に関する健康と権利」と訳される。女性が生涯にわたり身体的、精神的、社会的に良好な状態を享受する権利。

地域おこし協力隊の皆様！  
北上市の為に頑張っている

(※)長寿介護課、北上地区消防組合、社会福祉協議会、金融機関、タクシードライバー、北上ケーブルテレビ等へフアックスで情報を伝達する仕組み。



くまがい こうき  
熊谷 浩紀 議員

市の定住策と地域おこし協力隊の活用は

移住定住希望者募集の取り組みは。

産業振興により働く場を確保増進することで、働き手とその家族に定住してもらうことが中心。U・Iターン希望者を対象としたフェアやセミナーに参加して、来訪者の多様な相談に対応し移住につなげる。首都圏の移住希望者には、ふるさと回帰支援センターを活用しPRする。

地域おこし協力隊への起業支援は。

委嘱期間が満了する前後1年間において最大100万円を補助する制度を設けている。

市の認知症対策は

認知症徘徊者への対策は。

徘徊者等の連絡が入ったときは、北上地区防犯協会連合会が運用するFネット<sup>(※)</sup>を活用し、市内に周知する。高齢者や認知症者の迷子対策では、地域の見守り体制の強化が必要。保護した場合の対応や連絡先を周知する。

認知症サポーターが活躍するための方策は。

より実践的な対応ができるよう「認知症一人歩きサポート訓練」を実施する。

第235回

7月  
臨時会議

7月23日開催  
議案 2件  
報告 1件

国見橋の高欄工事

議案第24号 国見橋高欄更新工事の請負契約の締結について

国見橋の長寿命化修繕に伴い、老朽化の進んだ高欄を、現在の防護柵設置基準に合わせて更新します。契約金額は、1億4882万4千円です。工事のため、国見橋は9月中旬から来年3月まで片側交互通行となります。

国見橋は朝夕の交通量が多い。工事期間中は橋の全てが片側通行となるのか。橋の長さは約500メートルあるが、100メートル単位でリレーをしながら高欄の設置・撤去を順次行う。



▲国見橋

議会の動き (7月・8月・9月)

- 7月2日 広報委員会
- 3日 教育民生常任委員会
- 4日～5日 報酬等検討特別委員会行政視察
- 6日 広報委員会
- 13日 報酬等検討特別委員会、広聴委員会  
議会全員協議会
- 20日 議会運営委員会、教育民生常任委員会
- 23日 **第235回7月臨時会議(→P12)**  
広報委員会、各派代表者会、議会全員協議会  
議会改革推進会議
- 30日 総務常任委員会、産業建設常任委員会  
金ヶ崎町議会との研修交流会(→P8)
- 31日～8月2日 産業建設常任委員会行政視察
- 8月3日 議会全員協議会
- 6～8日 総務常任委員会行政視察
- 9日 議会全員協議会
- 20日・21日・28日・29日 **市民と議会をつなぐ会(→P14)**
- 22日 広報委員会
- 8月23日 議会全員協議会、各派代表者会  
横手市議会・西和賀町議会との研修交流会(→P13)
- 27日 教育民生常任委員会
- 9月3日 議会運営委員会、広報委員会
- 4日 決算概要説明会
- 4日・8日 市民と議会をつなぐ会
- 5日 広報委員会
- 6日～10月1日 **第236回9月通常会議(→P2)**  
《本会議の傍聴者数は31名でした》
- 13日 総務常任委員会、産業建設常任委員会
- 25日 報酬等検討特別委員会
- 27日 議会運営委員会
- 28日 報酬等検討特別委員会

【行政視察受入】

広島県廿日市市議会、千葉県八千代市議会、福島県岩瀬地方市町村議会議長会、群馬県渋川市議会、宮城県大和町議会、福島県会津若松市議会、東京都府中市議会、大船渡市議会

# 市政調査会研修報告

議員全員で構成する市政調査会では、隣接する西和賀町、金ケ崎町、花巻市と毎年交流会を開催し、合同研修や情報交換を行っています。今年度からは、秋田県横手市とも交流を始めました。7月に金ケ崎町と、8月に横手市・西和賀町との研修交流会を行いました。

## ◇金ケ崎町との研修交流会◇

ICTで変わる建設産業について研修を行いました。日本建設機械施工協会東北支部の鈴木勇治氏を講師に、ICT（情報通信技術）により建設現場の仕事がどのように変わるか、働き方がどのように変わるのか、今後必要となるICT技術者の育成について講演いただきました。



▲「ICTで変わる建設産業」の講演の様子

## ◇横手市・西和賀町との研修交流会◇

西和賀町の本屋敷地区にて、山菜研究家の小田島薫氏にお話を伺いました。少子高齢化・過疎化に歯止めのかからない集落にあって、遊休農地で西わらびを栽培し、ブランド商品化にいたった経緯をお聞きしました。

また、同集落に「縄文の谷キッチン開」をオープンした鈴木智之氏から、本屋敷地区の活性化について意欲あふれるお話を聞きました。



▲山菜研究家 小田島薫氏の西わらびの畑



## 12月通常会議の日程（予定）

— 議会を傍聴しませんか —

12月6日(木)	開会日
11日(火)	一般質問
12日(水)	一般質問
13日(木)	一般質問・常任委員会
14日(金)	常任委員会
20日(木)	最終日

高橋 孝二	齊藤 律雄	佐藤 恵子	小田島 徳幸	熊谷 浩紀	菊池 勝	委員	平野 明紀	副委員長	安徳 壽美子	委員長	広報委員会
-------	-------	-------	--------	-------	------	----	-------	------	--------	-----	-------

## 表紙を飾る写真を募集中

### ○募集内容

北上市内の四季折々の行事や風景などの写真※、絵画、コンピューターグラフィックスなど。現在は、次号に向けて「冬」がテーマの作品を募集中です。

### ○応募方法

必要事項を記入した応募用紙と作品をEメールに添付して送付するか、北上市議会事務局に直接お持ちください。

Eメール：gikai@city.kitakami.iwate.jp

### ◇必要事項◇

氏名、住所、電話番号、撮影年月日、撮影場所  
作品の説明

※写真については、おおむね1年以内に撮影したものを。  
人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けてご応募ください。

## 市民と議会をつなぐ会

# 議員報酬・定数をテーマにワークショップを行いました

8月から10月にかけて、市内16地区の交流センターで開催し、延べ271人の皆さんにご参加いただきました。今回は、議員報酬等検討特別委員会が現在検討している「これからの議員のあり方と議員報酬・定数」について、ワークショップ形式での意見交換を行いました。また、昨年度に議会から市長に提出した提言書とその後の状況についても報告しました。

### 議員報酬と定数を検討する背景と目的

議会機能の強化に取り組んできた北上市議会では、議員の活動は増加し続けており、他の仕事との兼業が難しくなることが予想されます。また、地方議員のなり手不足が全国的な課題であり、当市においても、若年層の立候補が少ない現状です。

そこで、議員活動のあり方を明らかにし、平成8年度から変わっていない議員報酬（35万1000円）を、活動量に見合った額にすることにより、2年後の改選期に議員を志す人が立候補できる環境を整えることを目的として検討しています。

### 報酬についての検討

#### ①活動量からの算出

議員の標準的な活動時間を積み上げ、年間1057時間と算出しました。この中に地域行事への出席や後援会活動等は含めていません。そして、議員と同じく選挙で市民に選ばれる市長の給料と活動時間を比較しました。この全国町村議会議長会検討案方式を基に、活動量に見合う議員報酬を、40万1990円と算出しました。

#### ②他議会との比較

北上市の類似団体（人口規模や産業構造が似ている自治体）の平均議員報酬は約39万円で、北上市は198団体中152位です。東北の自治体

### 定数についての検討

議会活動の中心である常任委員会の人数を考慮し、最低限23名は必要と考えます。他議会の平均議員定数は、類似団体では21名、東北の自治体では24名、同程度の財政力指数の団体では22名となっています。

#### 現時点の議会の議論

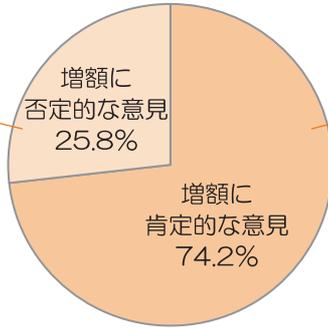
定数削減により、新たに立候補しづらくなるのが危惧され、多様性確保のためにも26名を維持すべきとの意見があります。一方、他議会と比較してやや多い定数であることから、議会の機能を落とすことなく減らせる範囲として24名にすべきとの意見もあります。

#### 現時点の議会の議論

標準的な活動量を基に算出した40万円前後の報酬が妥当との意見が大勢を占めています。生活給の視点で考えないと立候補できる人が限られるとの声も出されました。その一方で、もつと検討を要するとの意見もあります。

# 市民の皆さんからお聞きした意見

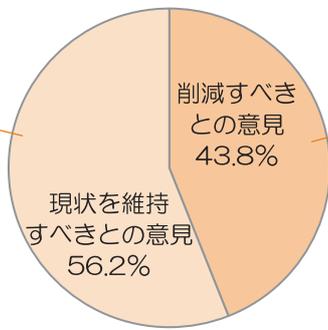
## 議員報酬



・報酬は平成8年から変わっていないが、活動は増えているので、40万円程度の案は妥当と思う。  
 ・若い人が立候補するため報酬は上げた方がよい。  
 ・議員専業で生活できる報酬にすることが必要。  
 ・定数の削減が条件だが、議員報酬は上げるべき。

・議員はボランティアの気持ちではなくてはだめ。他の仕事で収入を得ることが許されている。  
 ・市の財政を考えて、上げる必要はない。  
 ・今の報酬の額でなぜ足りないのか分からない。  
 ・議員を目指した理由は、報酬目的ではないのでは。

## 議員定数



・人口減少の将来を考えれば、定数は削減でよい。  
 ・常任委員会の構成から、最低限必要な偶数の定数で24名で良いのでは。  
 ・他議会との比較から24名程度。  
 ・16地区から1名ずつは必要だと思うが、定数は減らすのが妥当ではないか。

・市民の意見を反映するには、定数は減らすべきではない。  
 ・地区によって市民の声が届きづらくなるので、現状の26名を維持すべき。  
 ・定数を減らすと無関心な人が増えるのではないか。  
 ・活動が増加しており、定数減は無理があるので。

## 様々な人が議員を目指すため 必要な条件や制度

全国市議会議長会では、厚生年金など社会保険制度の導入を国に要請しています。また、先進的な取り組みを行っている新潟県上越市議会では、市民と議会の距離を縮める方法や選挙の困難さの解決等について研究しています。市民と議会をつなぐ会では、様々な人が議員を目指すため、必要な条件や制度についても意見交換を行いました。

- ・厚生年金等の社会保険制度が必要。
- ・誰もが立候補できるように、お金のかからない選挙に変えていくべき。
- ・研修のための政務活動費が月2万円は安い。もっと上げて勉強してほしい。
- ・議員と市民との意見交換が少ないので、増やしてほしいか。
- ・議員の仕事が子どもたちに説明する機会があれば良いのでは。

## 議会からの政策提言



▲ワークショップ形式で多くの意見をお聞きしました

- 議会から市長に提出した4つの提言書のその後の状況についても報告しました。
- ①公共施設のあり方について  
統廃合や複合化に関する市民説明会を秋に実施するとしています。
  - ②公共交通について  
北上済生会病院の移転に合わせ、路線バスの経路再編を検討するとしています。
  - ③福祉の相談体制について  
今年度策定の地域福祉計画で、総合相談体制を検討するとしています。
  - ④ごみの減量化について  
ごみの排出量を公開し、ごみ減量に対する市民貢献度を示すとしています。

当日いただいたご意見やアンケート結果は、報告書を各地区交流センターにお送りする予定です。

## 議会フォーラム開催のお知らせ

# 議員報酬と定数のあり方を考える

北上市議会では、議員報酬と定数のあり方について、地域との意見交換などを行いながら検討してきました。フォーラムでは、その検討結果を市民のみなさんに発表します。**たくさんのご参加をお待ちしています！**



期 日

11月25日(日)

時 間

午後2時～4時30分

※午後1時30分 開場

場 所

ホテルシティプラザ北上

(北上市川岸一丁目14-1)

★議員報酬と議員定数の検討結果について

★有識者による講評

＜山梨学院大学 江藤俊昭 教授＞

★パネルディスカッション

「議員のあり方と報酬・定数について」

コーディネーター

＜青森中央学院大学 佐藤淳 准教授＞

\*入場は無料  
\*事前申込み  
不要です



お問い合わせ

北上市議会事務局 担当：議員報酬等検討特別委員会  
電話 0197-72-8232